

プロレタリア 中国へ！ 独裁下の

第七次訪中学生友好参観団

学友の皆さん！ 日中国交回復の声が高まっている中で、今日のアジアにおける日本と中国をとりまく状況を私達は、充分にとらえきっているでしょうか。

抗日戦争に勝利した中国人民は、1949年に自らの手で中華人民共和国をうちたて、引き続き社会主義革命を推しすすめて、今や、プロレタリア文化大革命に勝利し、強固なプロレタリア独裁の中国をつくりあげています。

ところが、日本政府は敗戦後26年の長きにわたって七億中国人民に対する戦争責任を回避し、国交回復を阻害してきました。しかも、佐藤政府は一昨年「日米共同声明」において、アメリカ帝国主義の極東政策に積極的に加担してアジアを再侵略する意図を公然と表明しています。現実には南朝鮮、中国の台湾省及び東南アジアへの政治的・経済的侵略を推しすすめ、国内においては軍事力を強化し、「72年沖繩返還」によって沖繩を日米共同の軍事前線基地にしようとしています。

これに対し、中国、朝鮮、アジア各国人民は、「日本軍国主義の復活」を鋭く指摘し、日常的な警戒心を高めています。毛沢東主席が昨年5月20日の声明で「新しい世界大戦の危険は依然として存在しており、各国人民は必ず備えがなければならない。だが、当面の世界の主な傾向は革命である。」と述べているように、アジアにおいては、中国を中心とした朝鮮、インドシナ人民の反米統一線戦が結成され、民族解放斗争は日増しに強まり、今や、アメリカ帝国主義は孤立と破綻に陥っています。そして日本においては、沖繩をはじめ反基地、叛軍、入管等各戦線で反米帝反軍国主義の闘いが展開されています。

私達はアジア人民と連帯してこれらの斗争を断固推進していかなければならないと考えています。

これまで齐了会は、日中両国人民の友好と相互理解をめざして、学生友好参観団を6回にわたり中華人民共和国へ送り出してきました。そして、訪中国員は、中国人民の生き生きとした生活と、権力を掌握して自信にあふれた姿とを見て大きな問題提起をうけてきました。今こそこのプロレタリア文化大革命に偉大な勝利をおさめ、社会主義建設を強固に推しすすめている中華人民共和国を訪れ、「戦争に備え、自然災害に備え、人民の為に！」というスローガンの下に毛沢東思想を活学活用し、全世界人民の解放のために刻苦奮闘している中国人民の日常実践と中国革命の実践過程を学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

学友の皆さん！ とりわけ諸斗争を通して日本のアジア再侵略に反対している学友の皆さん！ 中国革命と毛沢東思想を真剣に学ぼうとしている学友の皆さん！

中国人民に学び、互いの斗争の経験交流をする中で日中両国人民の戦斗的友誼を一層深めると共に、訪中で得た成果を日本の運動の中で生かしてゆこうではありませんか。

私達齐了会は以上のような趣旨をもって、今春（齐了会初の春の団として）30名の関西訪中学生友好参観団にひき続き、第七次訪中学生友好参観団を派遣します。

尚、訪中活動は準備段階としての学習会及び帰国後の報告活動等を含みます。

参加希望者は、書類をお送りしますので、住所、氏名、年齢、学校、学部、学科、学年を明記し、返信用封筒を同封の上、おそくも4月10日までに下記へご連絡下さい。

1971年2月

主催 ちいらかい
齐了会

要項

訪問期間 1971年8月6日～8月30日 25日間

訪問先（予定） 広州、長沙、韶山、井冈山、
南昌、上海、南京、北京

費用 約17,500円

人員 約120名

関東連絡先

東京都西多摩郡羽村町五ノ神161

池田文子

関西連絡先

京都市左京区北白河堂の前町36

林方 金子明